

Graduate School of Environmental Science, Okayama University

岡山大学大学院環境学研究科 市民公開講座

「魅力ある大学院教育」イニシアティブー『いのち』をまもる環境学教育ー
第3回国際公務員就職セミナー

2006年 10月 18日(水)
13:30 ~ 16:00

会場▶岡山大学
創立五十周年記念館
多目的ホール

定員:400名
(参加費無料)
ご自由にご参加下さい。

■主催/岡山大学大学院環境学研究科、国連人口基金（UNFPA）東京事務所
■共催/大学コンソーシアム岡山
■後援/岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、JICA 中国、国際開発ジャーナル社、山陽新聞社、
(特活) ハート・オブ・ゴールド



主 旨

有森裕子 国連人口基金（UNFPA）親善大使を迎え、市民公開講座を開催するはこびとなりました。大使は世界的ランナーであるとともに、岡山におけるNPO（ハート・オブ・ゴールド）の代表としても現在活躍されております。

“岡山”においては、県、市、NGO/NPOなどの地域社会からの国際貢献の実践が非常に盛んです。一方、本研究科では世界的レベルで環境問題が重要になっているため、環境学の立場から国際貢献に寄与できる研究および人材の育成を目指しております。国際貢献を実践する「地域」と学術的研究が中心である「大学」がともに学び、議論することによって、“岡山”における新しい国際貢献の方向性を探ることを本市民公開講座の目的としております。

「国連大使」と「岡山におけるNPO代表」という2つの異なる立場からこれまで活動をされてきた有森大使のお話から、国際貢献として「地域から何ができるか」、さらに「地域とともに大学は何ができるか」を考える機会をもちたいと思います。

親善

プログラム

司会 岡山大学大学院環境学研究科 教授 小野芳朗

13:30 ▶開会の挨拶

岡山大学大学院環境学研究科 研究科長 中筋房夫

13:45 - 14:40 ▶基調講演

スポーツ・健康・いのち

国連人口基金（UNFPA）親善大使 有森裕子

聞き手：国連人口基金（UNFPA）東京事務所長 池上清子

14:40 - 14:50 休憩

14:50 - 15:50 ▶パネルディスカッション

地域からの国際貢献と大学の役割について

●コーディネーター

岡山大学大学院環境学研究科 助教授 山本秀樹

●パネリスト

有森裕子【国連人口基金（UNFPA）親善大使】

池上清子【国連人口基金（UNFPA）東京事務所長】

溝田 勉【長崎大学熱帯医学研究所 教授】

日下 基【国際開発ジャーナル 編集長】

横田賢一【山陽新聞社編集局 解説委員室長】

15:50 ▶閉会の挨拶

岡山大学大学院環境学研究科 副研究科長 谷口健男

有森 裕子 Yuko Arimori

リクルートAC 所属



●略歴

1966年岡山県生まれ。就実高校、日本体育大学を卒業して、(株)リクルート入社。バルセロナオリンピック、アトランタオリンピックの女子マラソンでは銀メダル、銅メダルを獲得。NPO「ハート・オブ・ゴールド」設立、代表就任。国連人口基金親善大使就任。2002年4月(株)ライツ設立、取締役就任。日本陸連女性委員会特別委員。国際陸連(IAAF)女性委員。現在、米国コロラド州ボルダー在住。

思
い
つ
づ
け
れ
ば、
夢
は
か
な
う

「一所懸命は必ず勝ちます」と、希望を持ってがんばっていくことを小学生・中学生をはじめとする子どもたちに訴え続けている。また、地雷で被害を受けたカンボジアの子どもたちに「義手や義足をつけ走ることで、夢を持つきっかけになれば」とふれあい・支援のための活動に力を注いでいる。有森裕子の信条は、「世の中にたった一人しかいない自分の生き方にこだわること」「二度とやってこない一瞬一瞬を精一杯生きたこと」。いまを輝くために、有森裕子の挑戦はつづく。

【主な競技歴】

- 1990年▶大阪国際女子マラソン 6位
2時間32分51秒(初マラソン日本最高記録)
 - 1991年▶大阪国際女子マラソン 2位
2時間28分01秒(日本最高記録)
 - 1991年▶世界陸上選手権女子マラソン 4位
2時間31分08秒
 - 1992年▶バルセロナ五輪女子マラソン 2位
2時間32分49秒
 - 1995年▶北海道マラソン 女子優勝
2時間29分17秒(大会新記録)
 - 1996年▶アトランタ五輪女子マラソン 3位
2時間28分39秒
 - 1999年▶ボストンマラソン 3位
2時間26分39秒(自己ベスト)
 - 2000年▶大阪国際女子マラソン 9位
2時間31分22秒
 - 2000年▶ニューヨークマラソン 10位
2時間31分12秒
 - 2001年▶東京国際女子マラソン 10位
2時間31分00秒
- ◎自己ベスト2時間26分39秒
(ボストンマラソン 1999年4月19日)



【著 書】

- 「アニモ」1997年 (株)メディアファクトリー刊
- 「わたし革命」2003年 岩波書店刊
- 「有森裕子と読む人口問題ガイドブック」 国際開発ジャーナル社

【コラム】

ランニング情報マガジnkリー「animo 日記」連載中

▶ 池上清子 (国連人口基金 東京事務所長)

国際基督教大学大学院で行政学修士号を取得後、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 定住促進担当、国連本部人事局行政官、家族計画国際協力財団 (JOICFP) 調査計画部長、同企画開発部長、国際家族計画連盟 (IPPF) ロンドン資金調達担当官などを経て、2002年9月より国連人口基金東京事務所長。開発途上国での女性の健康、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、人口、HIV/エイズなど諸問題に取り組む。外務省外部有識者事業評価委員、内閣官房長官諮問機関アフガニスタンの女性支援に関する懇談会メンバーなどを歴任。また、保健分野 NGO 間のネットワーク構築にも寄与。著書に「有森裕子と読む 人口問題ガイドブック」(2004年 国際開発ジャーナル社)、「シニアのための国際協力入門」(共著、2004年 明石書店) など。

▶ 山本秀樹 (岡山大学 大学院環境学研究科 生命環境学専攻国際保健学分野・助教授)

岡山大学医学部卒、岡山大学医学研究科修了、ハーバード大学公衆衛生大学院修了、博士(医学)。大学院在学中より AMDA (アジア医師連絡協議会) の事務局長、副代表を務めた。1997年、98年にカンボジア・アンコールワット国際ハーフマラソンに役員および出場 (10キロ)。同マラソンを岡山県情報ハイウエーの助成を受けて、人工衛星 (インマルサット通信衛星) を使ってインターネット中継した。1998 - 2000年、JICA (国際協力事業団: 当時) の長期専門家 (公衆衛生) としてザンビア国に派遣され、ザンビア国ではハートオブゴールドの支援を受けてチャリティーマラソンを開催した。岡山大学医学部助手、岡山大学大学院医歯学総合研究科講師を経て、2006年4月より現職。

▶ 溝田 勉 (長崎大学医歯薬総合大学院・熱帯医学研究所教授)

1944年愛媛県生まれ。1970年東京大学大学院教育学研究科修了 (健康教育学)。1974年文部省大臣官房調査統計課専門職員、その後、国連教育科学文化機関 (ユネスコ) 中南米地域事務所教育計画官、国連児童基金 (ユニセフ) 本部および南西アジア地域事務所上級計画官、国連本部広報局・ユニセフ駐日副代表他を経て、1989年長崎大学経済学部講師、1993年女子栄養大学栄養学部助教授、1995年4月より現職。教・医博士。毎夏に長崎市長が読み上げる平和宣言文の起草や、国連機関ならびに NGO/NPO を通じる平和構築活動に各種参画しつつ、学際間の「橋懸け」を多様に試みている。「熱帯性感染症と経済的貧困・文化」、「国際保健医療への誘い」等研究著書シリーズで19冊の編著作を数える。

▶ 日下 基 (株式会社国際開発ジャーナル社取締役編集長)

1970年岡山県生まれ。香川大学法学部法学科卒業、米国ピッツバーグ大学公共国際問題大学院中退。1996年株式会社国際開発ジャーナル社に入社。国際協力の話題を扱う月刊専門誌『国際開発ジャーナル』編集部、国際協力事業団 (JICA) 広報課 (広報コンサルタントとして出向) などを経て、2003年9月より取締役編集長。世界の援助潮流、政府開発援助 (ODA) の動向、大学・NGO・地方自治体による国際交流・協力、企業の社会貢献活動、国際協力分野のキャリア・パスやボランティアの動向などについて取材。城西大学経済学部非常勤講師 (国際ボランティア論)。

▶ 横田賢一 (山陽新聞編集局解説委員室長)

1951年、岡山県吉備中央町生まれ。1974年同志社大学文学部卒、山陽新聞社入社。編集局で社会部など報道部門を歩き、1993年、同局解説委員、2006年3月から現職。同年1月1日から6月29日まで山陽新聞朝刊一面に連載した「手と手と手 岡山発 国際貢献」の取材班 (6人) キャップ。著書に「妻の決心夫の腐心」「四国霊場四季暦」「岡山孤児院物語」など。

お問い合わせ先

〒700-8530 岡山市津島中三丁目1-1
岡山大学大学院自然科学研究科等事務室
TEL: 086-251-8573 FAX: 086-251-8580
e-mail: kanda-m@adm.okayama-u.ac.jp
※会場へのアクセスについては <http://www.okayama-u.ac.jp/50kinenkan/koutsu.htm> を御覧下さい。

岡山大学大学院環境学研究科 市民公開講座

「魅力ある大学院教育」イニシアティブー『いのち』をまもる環境学教育ー
第3回国際公務員就職セミナー

2006年 10月 18日(水)

13:30 ~ 16:00

- 主催 / 岡山大学大学院環境学研究科、
国連人口基金 (UNFPA) 東京事務所
■共催 / 大学コンソーシアム岡山
■後援 / 岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、
JICA 中国、国際開発ジャーナル社、山陽新聞社、
(特活) ハート・オブ・ゴールド

会場 ▶ 岡山大学
創立五十周年記念館
多目的ホール

定員: 400 名
(参加費無料)
ご自由にご参加下さい。

プログラム

司会 岡山大学大学院環境学研究科 教授 小野芳朗

13:30 ▶ 開会の挨拶

岡山大学大学院環境学研究科 研究科長 中筋房夫

13:45-14:40 ▶ 基調講演

スポーツ・健康・いのち

国連人口基金 (UNFPA) 親善大使 有森裕子
座長: 国連人口基金 (UNFPA) 東京事務所長 池上清子

14:40-14:50 休憩

14:50-15:50 ▶ パネルディスカッション

地域からの国際貢献と大学の役割について

●コーディネーター

国連人口基金 (UNFPA) 東京事務所長 池上清子
岡山大学大学院環境学研究科 助教授 山本秀樹

●パネリスト

有森裕子 [国連人口基金 (UNFPA) 親善大使]
溝田 勉 [長崎大学熱帯医学研究所 教授]
日下 基 [国際開発ジャーナル 編集長]
横田賢一 [山陽新聞社編集局 解説委員室長]

15:50 ▶ 閉会の挨拶

岡山大学大学院環境学研究科 副研究科長 谷口健男

問い合わせ先

〒700-8530
岡山市津島中三丁目1-1
岡山大学大学院自然科学研究科等事務室
TEL: 086-251-8573
FAX: 086-251-8580
e-mail: kanda-m@adm.okayama-u.ac.jp
※会場へのアクセスについては
<http://www.okayama-u.ac.jp/50kinenkan/koutsu.htm> を御覧下さい。



岡山大学



おかやま国際貢献
From the people of Okayama, Japan



国連人口基金

